

令和2年12月7日

所沢市医師会 会員の皆様へ

感染症担当理事
赤津

新型コロナウイルス感染症対応について（第31報）

新型コロナウイルス感染症第3波の拡大が続いています。重症者の増加に加え、中核医療機関でのクラスター発生（国立西埼玉中央病院）や中小病院での散発例を耳にします。感染拡大を防ぐためにも多くの医療機関の協力が大事です。所沢市では新型コロナウイルス、インフルエンザに対応できる診療・検査医療機関として53医療機関が登録して頂きました。会員の皆様、感染防護に万全を期してのご診療をお願い申し上げます。

記

1. 所沢市内在住者の発生状況（第3波、感染拡大は決定的です）

所沢市中での感染拡大は決定的です。軽微な症状の患者もたくさんおり、臨床症状から診断に至ることは困難です。市中、医療機関内を問わず、感染防護に特段の御留意をお願い致します。市民の協力なしでは感染制御は困難ですので、平素の外来患者様への啓蒙も宜しくお願い申し上げます。

(https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kenko/oshirase/tokorozawa_corona.html)/-

6月	7月	8月	9月	10月	11月
3名	41名	128名	41名	31名	140名

2. 医師会 PCR センターの実績について（6月から11月まで）

これまで264名に実施し15名の陽性例を認めました。自院での実施が増えており、PCRセンターへの依頼件数は7月のピーク時より減少しています。

	6月	7月	8月	9月	10月	11月
実施	43名	95名	62名	25名	17名	22名
陽性	0名	6名	4名	1名	2名	2名

3. 発熱疾患等の発生状況

定点把握対象疾患である各種感染症のうち、インフルエンザ、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌感染症、感染性胃腸炎の報告数は例年に比較すると非常に低い状態で推移しています

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/ryuukou.html>)。

最も新しいインフルエンザの流行情報は2020年第48週（11月23日～11月29日）ですが、定点医療機関から報告があったインフルエンザ患者数は0人（定点当たり0.00）でした。

4. 年末・年始の新型コロナウイルス感染症に係わる診療・検査に関する支援のお願い

年末年始の休日診療体制について、さらなる充実を目指した支援のお願いです。別紙（年末・年始の新型コロナウイルス感染症に係わる診療・検査に関するご依頼、京谷会長、齊藤理事発）の通りですので御検討頂ければ幸いです。急で恐縮ですが、回答は12月10日(木)17時必着までに医師会事務局にお願い申し上げます。

5. 診療・検査医療機関に対しての所沢市医師会としての支援策

理事会での承認を得ましたので、前報でお知らせした内容を以下の通り、具体化致します。該当する医療機関でご希望のある場合は早めに医師会にご連絡下さい。尚、パルスオキシメーターの貸与時に借用書、また抗体検査キット受領の際に受領書を書いて頂きますので、お申込みの際は事務担当者を医師会事務局に來させて下さい。

(1) 登録医療機関内での情報共有のために連絡網を構成すること

登録医療機関内での現状、問題点、課題を共有できるように、医師会の「絆ネットところ」で活用しているメディカルケアステーション（MCS）を活用した連絡網を構成します（理事会等、他の会議でも使用中）。MCSのご案内は所沢市医師会所沢市医療介護連携支援センターのホームページに詳細が記載されています

(<https://www.tokorozawa-renkei.net/network>)。医師会事務局から申請用紙を該当医療機関に郵送でお送りしますので内容を御確認頂き、お申し込み頂ければ幸いです。セキュリティの高いリアルタイムの情報共有が可能となります。多くの医療機関の御参加をお待ちしております。

申し込みの締め切りは12月16日とさせていただきます。

(2) パルスオキシメーターの無償貸与

医師会保有のパルスオキシメーターを登録医療機関からの要請により、1台無償貸与することで理事会の承認を得ました。ご希望の登録医療機関は医師会事務局に連絡の後、取りに來てください。

(3) 新型コロナウイルス抗体検査キット(IgG)の無償供与

医師会保有の抗体検査キットを登録医療機関からの要請により、1キット無償供与することで理事会の承認を得ました。ご希望の登録医療機関は医師会事務局に連絡の後、取りに來てください。

尚、抗体検査について、以前は罹患中の感染を察知する手立ての一つとして候補となりましたが、現在はPCRや抗原検査ができますので、抗体検査の実施は感染既往の判断のための位置づけとなります。決して、現在の感染確認の手立てとしては使用しないで下さい。また、使用期限がありますので期限内での使用をお願い致します。追加でキットが必要な場合は医師会の在庫がある間は有償（格安）でご提供致しますので事務局までお問い合わせ下さい（登録医療機関でなくても購入は可能）。

(4) その他

MCSの同意書提出、パルスオキシメーター、新型コロナウイルス抗体検査キットの受領は事務局で一度に対応できますので、各医療機関の担当者が一度事務局にお出でになるのが一番スムーズかと思ひます。

年末・年始の新型コロナウイルス感染症に係わる 診療・検査に関するご依頼

所沢市医師会会長 京谷圭子
休日当番担当理事 齊藤秀行

日頃より、医師会活動にご協力いただき、有り難うございます。

さて、埼玉県より12月2日付けで、「新型コロナウイルス感染症に係わる年末年始診療・検査体制の確保について（依頼）」が通知されました。各郡市医師会に対して年末年始の診療・検査体制確保を要請したものであります。

要点を記載しますと

- 自院でCOVID-19の診療、検体採取を行った場合、1医療機関あたり、一日154,840円の委託料が支払われます。
- 県の指定診療・検査医療機関に申請していなくとも支給されます
- 市からの当番委託費を受けていても支給されます。
- 県の資料にはPCR検査とのみ記載がありますが、抗原定性検査でも良いと確認が取れております。

それを受けて、年末年始に新型コロナウイルスの診療 and/or 検査をしていただける医療機関につき、すでに休日当番に当たっている医療機関、当たっていない医療機関を問わず募集させていただきます。なお、休日当番以外で引き受けてくださるご施設に関しては、一般には公表せず、当番医からの依頼のみに対応していただくように運用したいと考えております。当医師会としては、現在の体制で手薄なのは12月30日、31日、1月3日と考えております。この三日にご支援いただけると、特に心強く思います。

また、PCR検査では結果が当日中には判明しないため、当番日翌日以降に結果を患者さんに報告したり、陽性の場合に保健所へ連絡したりするなどが必要になってしまいます。それに対して抗原定性検査は感度が劣るとされていますが、15分で結果が判明すると言う大きな利点があり、現在では発症2日から9日においては陰性であった場合もそのまま陰性と判定して良いとされています。現在は鼻腔拭い液検体（鼻咽腔拭い液では無く）が認められており、患者さんに検体採取用のスワブを渡して自己採取してもらう事も可能です。年末年始という特殊な状況では、PCRより有用性が高いと考えられます。当医師会としては、その様な条件を考え、年末年始においては抗原定性検査の活用をお願いし、購入において補助を行いたいと考えております。

急な話であり、従業員の方の都合もあり、対応が難しいことは重々承知しておりますが、ご検討いただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

返信先 FAX 番号：04-2995-6635 【締切:令和2年12月10日(木)17時必着】

協力可能です。(下記協力可能日に○印をお願いします。)

〔12月29日・12月30日・12月31日・1月1日・1月2日・1月3日〕

医療機関名: